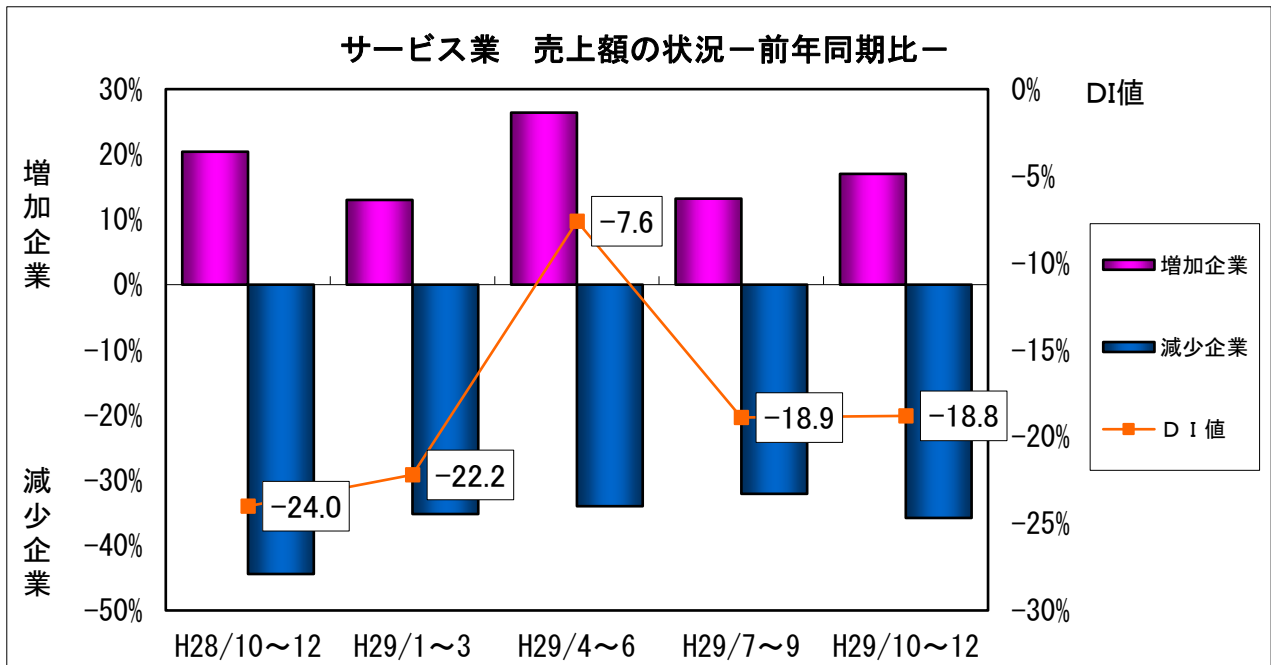


(2) 主要項目の概況

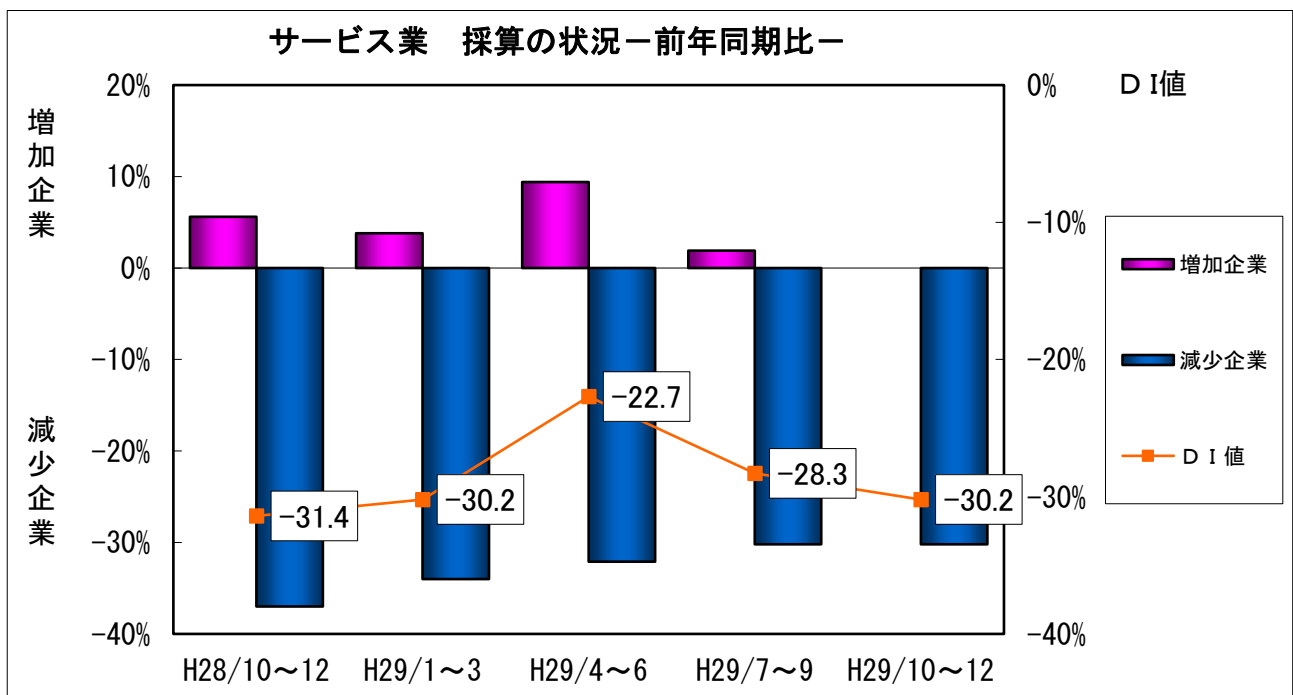
①売上（収入）額（前年同期比）

今期の売上（収入）額D I値は、▲18.8。前期の▲18.9から0.1ポイントと横ばいとなった。来期見通しは、▲17.0とほぼ横ばいの見込み。



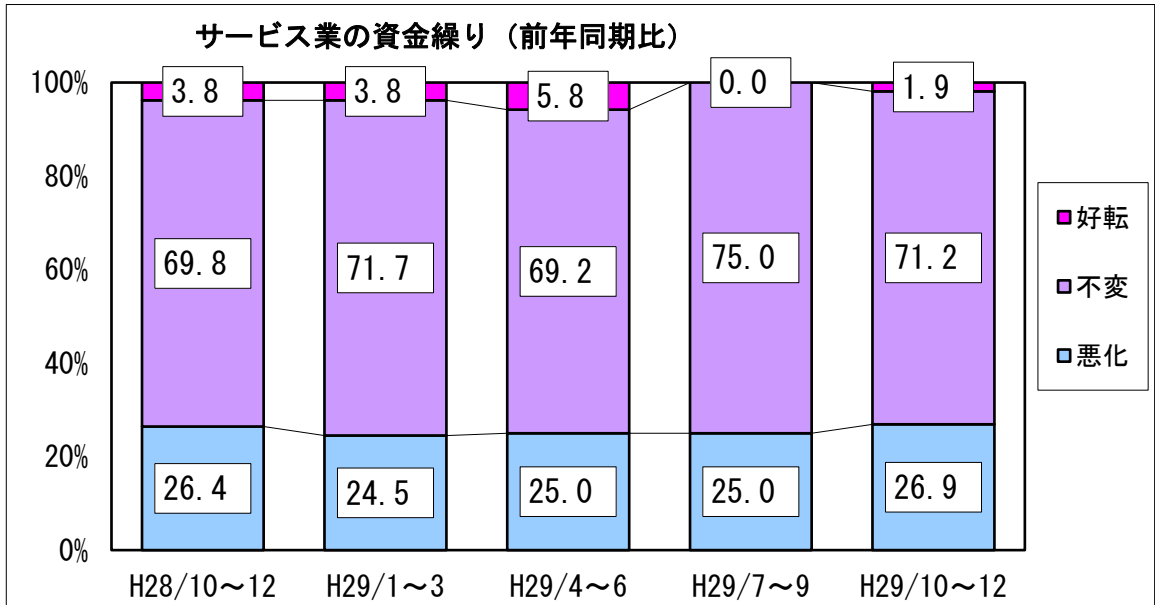
②採算（前年同期比）

今期の採算D I値は、▲30.2。前期の▲28.3より1.9ポイントの下降となった。来期見通しは、▲13.5と改善の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は、▲25.0。前期の▲25.0から0.0ポイントと横ばい。来期見通しは▲15.4と改善が予想される。

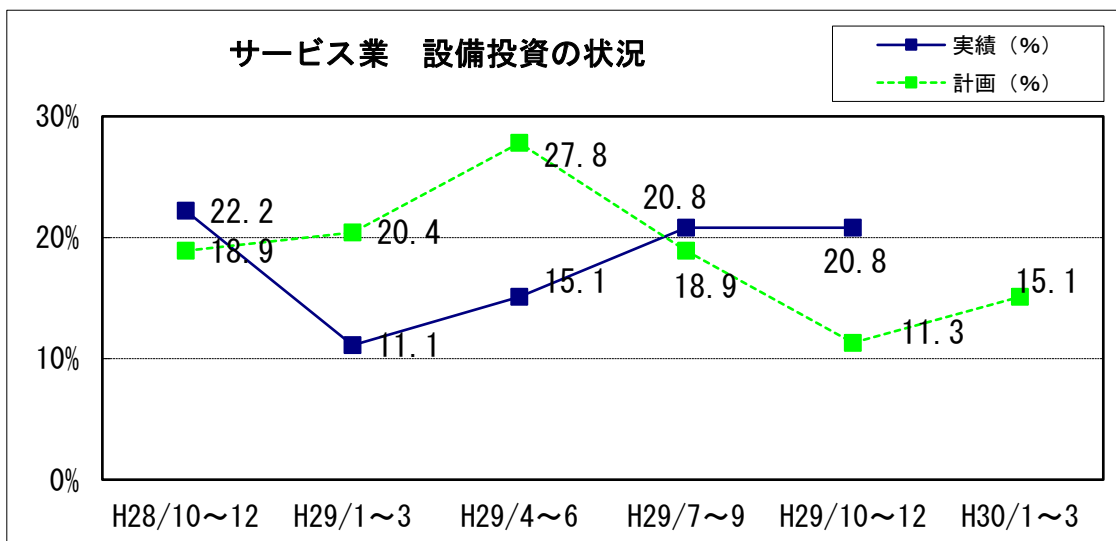


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	サービス	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	11	0	5	4	1	2	3	0	1	42
(%)	20.8	0.0	45.5	36.4	9.1	18.2	27.3	0.0	9.1	79.2
今期実施 (実数)	11	0	4	1	1	1	1	0	3	42
(%)	20.8	0.0	36.4	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0	27.3	79.2
来期計画 (実数)	8	0	3	2	2	0	1	0	2	45
(%)	15.1	0.0	37.5	25.0	25.0	0.0	12.5	0.0	25.0	84.9

今期設備投資を実施した企業は11社（20.8%）。前期（平成29年7～9月期）実施企業11社（20.8%）と横ばいであった。来期は8社（15.1%）が設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位から三位にあがる項目は、

- ・ 「利用者ニーズの変化」 (前期 29.8%→今期 43.5%)
- ・ 「材料等仕入単価の上昇」 (前期 27.7%→今期 41.3%)
- ・ 「需要の停滞」 (前期 48.9%→今期 37.0%)
- ・ 「店舗施設の狭隘・老朽化」 (前期 25.0%→今期 26.1%)
- ・ 「従業員の確保難」 (前期 17.0%→今期 19.6%)

となっている。

